

川本中学校 学校便り

川本町立川本中学校

2022（令和4）年7月20日(水)

〒696-0004 島根県邑智郡川本町川下1112番地

TEL 0855-72-0408 FAX 0855-72-1762

E-mail info@kawamoto-jhs.kawamoto-town.jp

— 2学期に向けて —

① 感謝の想いを伝えよう。今の「あたりまえ」は「あたりまえではない」。

1学期69日が終わりました。皆さんどんな1学期だったでしょうか。行事や部活動、学習などに取り組み、自分自身の課題や学級学校の課題と向かい合いながら、多くのことを考え、感じた1学期だったのではないのでしょうか。先日行われた校内弁論大会での弁士の発表にも、日々の生活の中で考えていたことや実行したい思いなどがよく表現されていました。



さて、2学期に向けて、私が皆さんに考えてもらいたいことを1つ紹介します。それは、「今一度、自分の周りに目を向けて感じてみて」ということです。

わかりやすい例を1つ。川本中学校は、体育館にエアコンがついています。今の3年生が1年生の時の3月に設置され、昨年増設していただき、現在8台あります。中学生のためでもあります。町の避難所として活用するために設置されています。私の知る限り、県内の学校体育館にエアコンがついている学校はほとんどないと思います。3年生は『体育館にエアコンのついていない夏』を経験しているので少し違うと思いますが、これ、「あたりまえ」ではないですよね。でも、いつしかエアコンのある環境に慣れ、ともすれば、存在することがあたりまえのような気持ちになって、過ごしていませんか？

コロナ禍の中の熱中症対策の一環として、授業や部活動等でありがたく活用させていただいていますが、私は、体育館のエアコンを見ると、川本町民の皆さんの税金で、子どもたちに安心安全を提供していただいていると感じ、感謝の気持ちでいっぱいになります。

これはほんの1つの例です。家族のおかげで自分の生活が支えられていること。授業や学校生活の様々な場面で、先生や同級生、先輩や後輩にやってもらっていること。地域の方が皆さんを気にかけてくださっていることなど、どこまで気づくことができ、「ありがたいなあ」と思い、相手に伝えることができているでしょうか。

『ありがとうの言葉があふれる学校』は、川本中学校の目指す学校像の1つです。「ありがとう」という言葉を使う人は増えてきていると思いますが、今一度自分の周りを振り返ってください。「あたりまえ」のように思っていることが、誰かの思いやりによって成り立っていることのなんと多いことか・・・。



夏休みは、より、身近な人やふるさとへの感謝に気づきやすい時です。自分から積極的に気づいたことを表現し、自分をもっともっと成長させていきましょう。皆さんの前向きな夏に期待しています。



○進路説明会(2・3年生)

〈めざす学校像〉

- 生徒・職員・保護者・地域の人々が、安心して、『夢』や『志』を語り合える学校
- ありがとうの言葉が、あふれる学校



○救急救命講習(2年生)

— 2学期に向けて —

② 勉強する意味を考えてみよう。何のために人は学ぶのか？

『何のために勉強するんですか?』昔から似た質問を多くの生徒から問われてきました。確たる正解はなく、人それぞれだと思いますが、皆さんも少しだけ、「勉強する意味」について一緒に考え、ご家庭で話題にしてみてください。

私は、まず、1つめは、「社会に出たときに必要な知識を身につけること」だと思います。この「知識」は、テストに直結することだけではありません。「正しい知識」を学べば、「知らないこと」や「わからないこと」が少しずつ減り、「できた」や「わかった」が少しずつ増えます。「自信」が少しずつ出てきて、意欲も高まってきます。勉強を始めることをきっかけにして、「やる気」や「もっと知りたい」という「興味が増していく」というプラスの効果も期待できます。また、「知らずに誰かを傷つける」こともなくなっていくと思います。これらを含めて「勉強する意味」だと思います。

2つめ、「考える力を身につけること」だと思います。どうやったら正解にたどりつけるか考える。完璧(ベスト)な答えはないが、よりよい(ベターな)答えはないか考える。上手く相手に伝える方法を考える。わからないときに自分なりの切り替え方を身につけていくなどです。この考える時間の積み重ねで、解決方法などたくさんの経験を得ていくのではないかと思います。

皆さんのこれからの未来は、定まった答えのない問題にどう対処していくかが問われる社会となっていきます。新たな発想や独創的な思考は、アイデアもあるでしょうが、様々な考える力の積み重ねによって生まれていきます。勉強を通して、考える力を育ててほしいと思っています。

「勉強する意味」について、2つの私見を述べました。気づいた人もいるかもしれませんが、この勉強は、中学を卒業して終わりではありません。大人になってもずっと必要だと思います。私も含め、我々大人が率先垂範して、勉強する姿や、物事に興味をもち続ける姿を子どもたちに見せていくことも大切なことだと思います。

さて、夏休みです。視野を広げると、「知りたいこと」、「考えてみたいこと」、「やってみたいこと」は、身近なところにたくさんあるのではないのでしょうか? 普段よりも時間のある夏に、興味のあることを調べて、たくさんの『勉強』をしてほしいと思います。それが、皆さんの『未来を切り拓くための鍵の1つ』になると思いますよ。

〈こちら〉

- タブレットに学習教材が入っています。5教科の学習がオフラインでできます。こちらをとことんやってみるのも立派な「探求」の一つだと思います。大事に扱い学習を進めてください。

